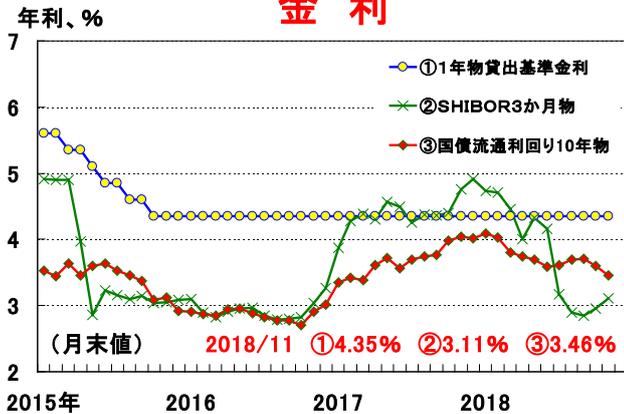


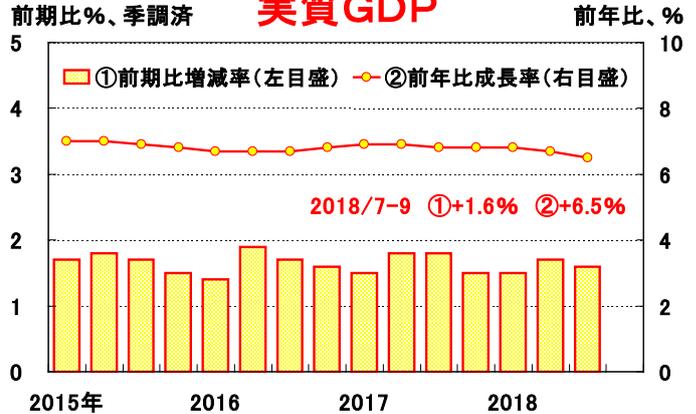
グラフで見る中国経済 2018年12月号(No. 115)

中国では固定資産投資に改善の動きがみられる。10月の固定資産投資は前年比+8.0%と3か月連続で増勢が強まった。2018年半ば以降に地方政府が相次いで発表した大規模な公共投資プロジェクトが実行段階に入ったことが背景にあるとみられる。一方、個人消費は減速した。10月の小売売上高は前年比+8.6%と2018年5月以来の低い伸びとなった。10月に個人所得税の減税が実施されたものの、その効果はまだ現れていないとみられる。消費の減速による影響もあり、企業部門では10月の鉱工業生産が前年比+5.9%と伸び悩んだ。

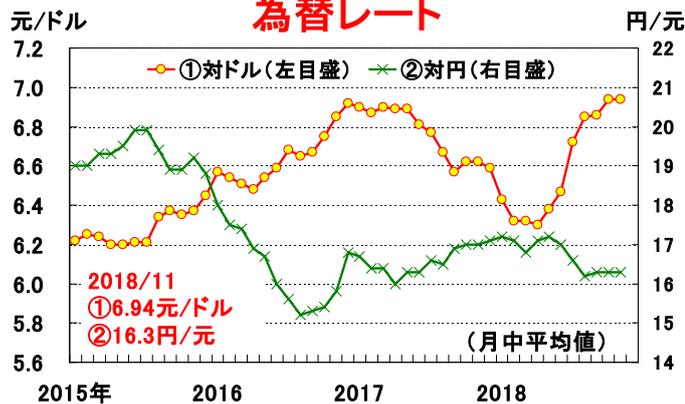
金利



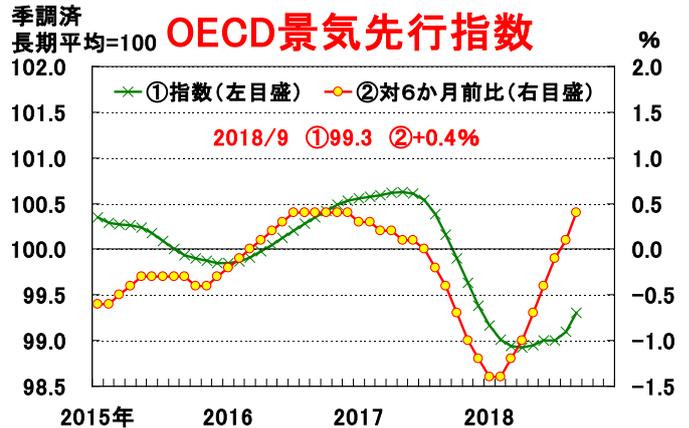
実質GDP



為替レート



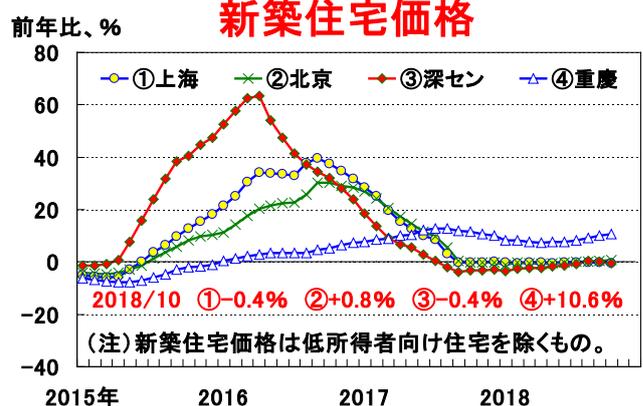
OECD景気先行指数



上海総合指数(株価)



新築住宅価格

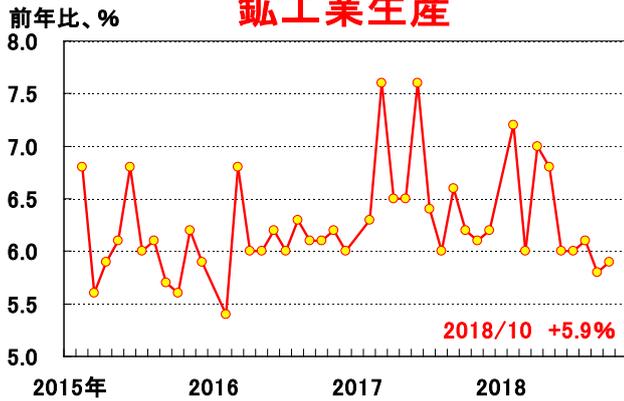


【今月のトピック:「光棍節」の取引額の増勢は過去最低】中国では毎年11月11日に「光棍節」(こうこんせつ)と呼ばれるインターネット通販の大規模セールが行われる。2018年もセールが大々的に行われ、同日の中国におけるネット通販総取引額は3,143億元(約5.1兆円)と過去最高を更新した。一方、総取引額の増勢は前年同日比+23.8%と過去最低となった。都市部におけるネット通販利用が普及して、飽和状態に近づいていることがその主な背景である。また、今年に関してはそれに加えて、中国の個人消費が全体として低調なことが増勢を下押ししたと考えられる。

(出所) 中国人民銀行、中国国家统计局、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

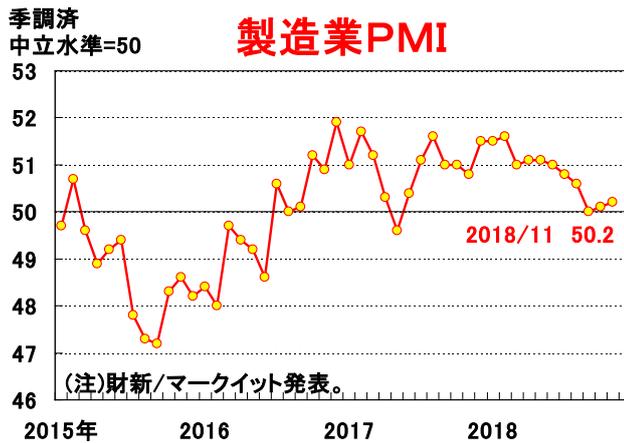
鉱工業生産



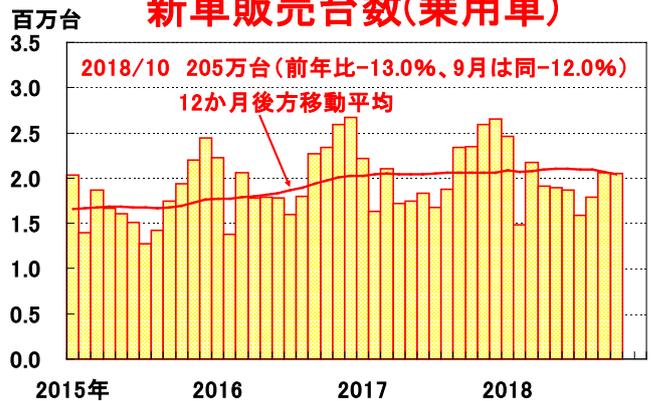
小売売上高



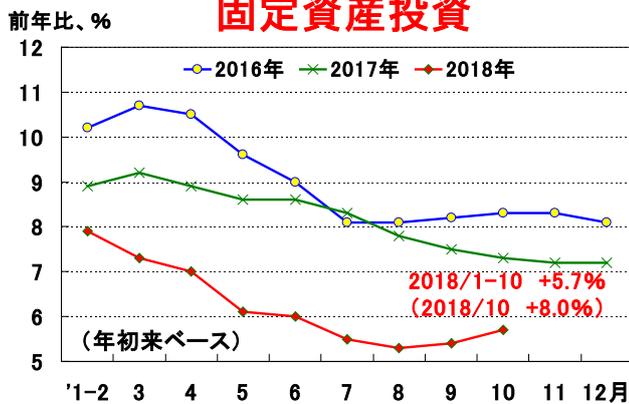
製造業PMI



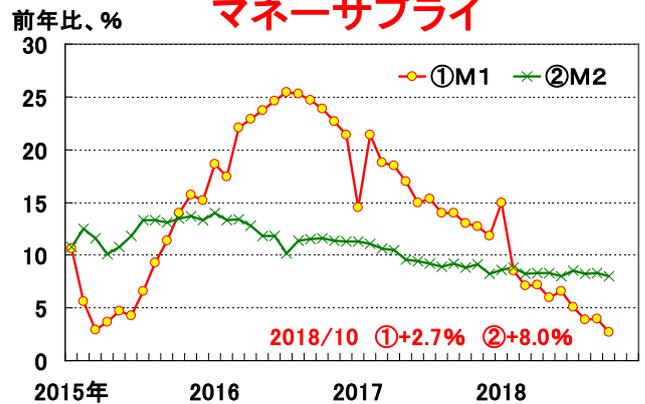
新車販売台数(乗用車)



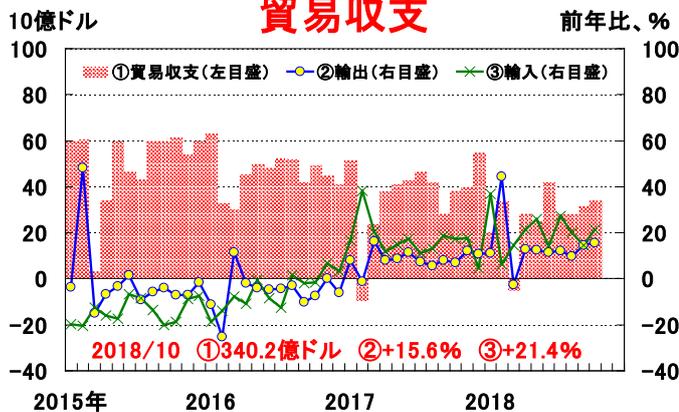
固定資産投資



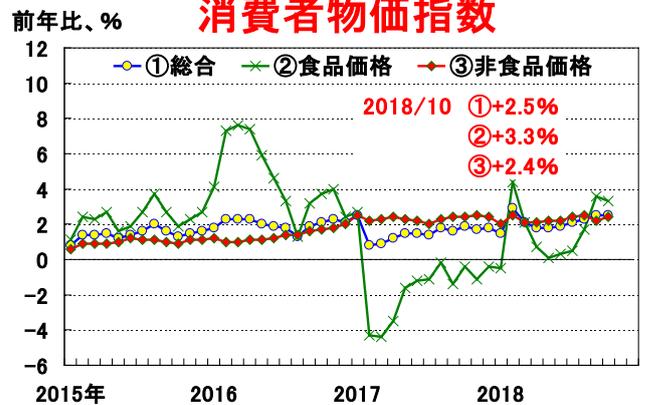
マネーサプライ



貿易収支



消費者物価指数



(出所) 中国国家统计局、中国海関総署、中国商務部、中国汽車工業協会、中国物流購買連合会、中国人民銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。